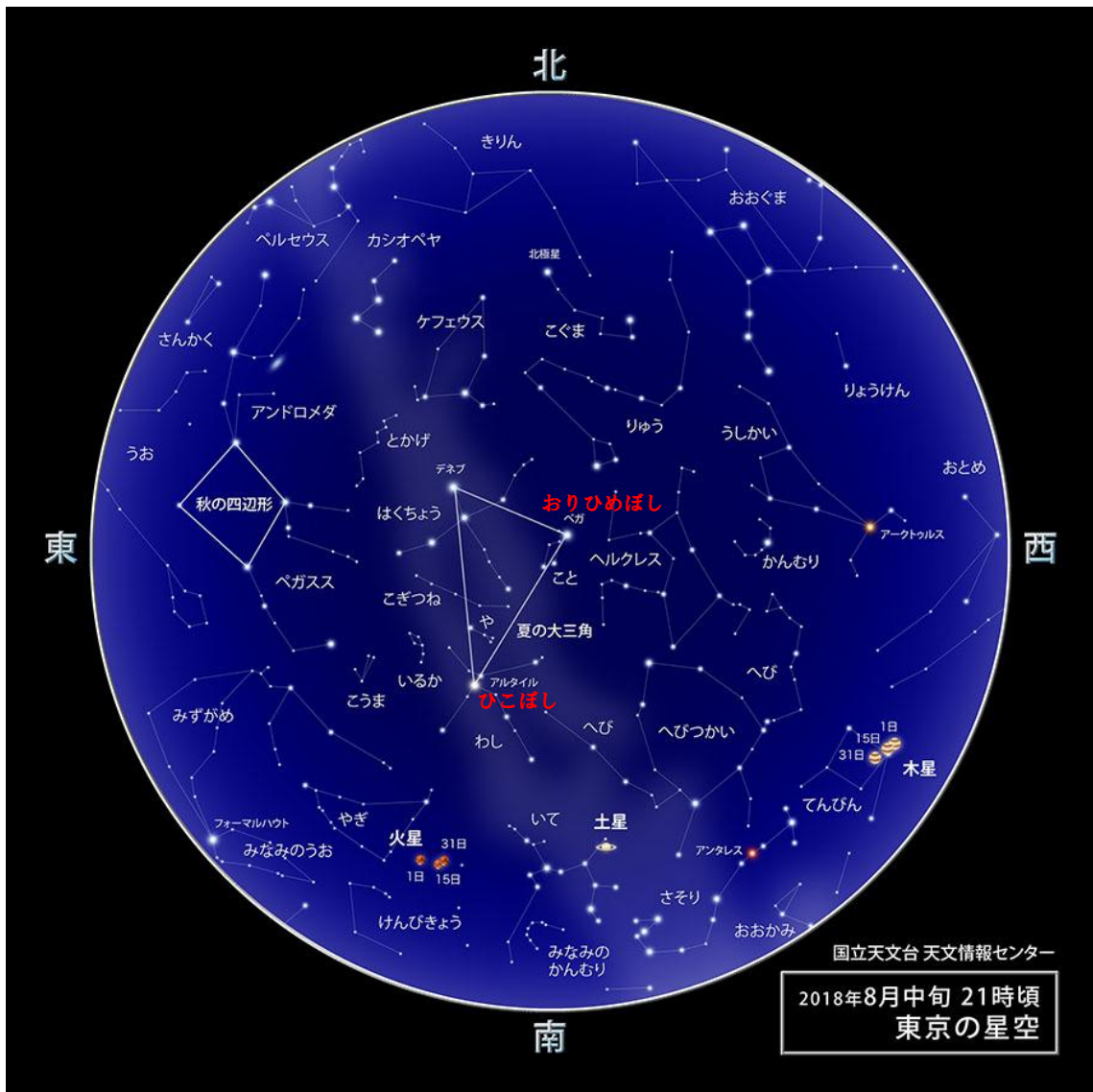


8月の星空案内



8月は、三大流星群の一つ、ペルセウス座流星群が見ごろをむかえます。ペルセウス座流星群は毎年8月12日、13日頃を中心に活動する流星群です。13日の午前10時ごろ極大になると予想されているので、12日の夜から13日の明け方にかけて、たくさん流星を見られそうです。今年は月明りの影響もなく、流星群観察にはバッチリの条件です。流星群観察の際は、空を広く見渡せるところで観察しましょう！

★8月の星空ガイド★

7日 (火)	立秋
11日 (土)	新月／部分日食 (日本では見られない)
12～13日	ペルセウス座流星群がピーク (見ごろは13日未明、条件がよい)
17日 (金)	旧七夕
26日 (日)	満月

火星が見ごろです



火星と地球の最接近日は7月31日ですが、火星の明るさは6月下旬から9月上旬頃までマイナス2等を超え、観察しやすい時期が長く続きます。

15年ぶりに大接近中の火星をぜひお楽しみください！